

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第3回 宮崎市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和4年10月24日（月） 午後2時00分～午後4時00分
開催場所	宮崎市上下水道局4階 大会議室（宮崎市鶴島3丁目252番地）
会長氏名	鈴木 祥広
出席者氏名 （委員）	【対面】鈴木会長、中川委員、清家委員、時任委員、河野委員、小野委員、肥田木委員、佐々木委員 【W e B】藤崎委員、深野木委員、清水委員、岩切委員、早瀬委員、工藤委員、前田委員 （計15人）
欠席者氏名 （委員）	なし
事務局	下郡上下水道局長、栄福管理部長、児玉水道部長、仁田脇下水道部長、武田総務課長、岩城財務課長、矢野料金課長、飯干給排水設備課長、蛭原水道整備課長、徳永配水管理課長、山元浄水課長、大谷営業所工務課長、日高下水道整備課長、中野下水道施設課長、高力財務課長補佐、徳永主幹、小野副主幹、池島主査、渡部主査、柳田主任主事
傍聴者	なし
次第	議 事 （1）みやぎき水ビジョン2020における成果指標の新設について （2）みやぎき水ビジョン2020 施策評価外部評価の確定について （3）令和4年度投資・財政計画ローリング結果について （4）その他

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>【開会】 開会を宣言。</p> <p>【配付資料の確認】 本日の会議資料を確認。</p> <p>それでは、宮崎市上下水道局長がご挨拶申し上げます。</p>
局長	<p>本日はお忙しい中での当審議会へのご出席と施策評価に貴重な時間を割いていただいたことに感謝申し上げます。</p> <p>また、評価項目が多いこと、評価の方法も難しかったのではないかと 思う。この点はお詫び申し上げます。</p> <p>数値による達成度は客観的に評価ができる一方、数値目標や達成度の ない定性的評価は客観的な評価ができず、主観が入りやすくどのように 評価すれば良いのか戸惑いがあったと思う。</p> <p>充実した評価制度になるよう、いかに主観を排除し、評価手法のレベ ルを向上させるか、委員の皆様方のご意見を聞いて改善したい。</p> <p>今月開催された臨時市議会で令和3年度公営企業会計の決算が認定さ れた。</p> <p>単年度の決算が黒字であろうが、人口減少や老朽施設への対応等、上 下水道局会計の厳しい状況に変わりはない。</p> <p>また、ウクライナ紛争や円安による原油価格・物価高騰が市民生活に大 きな影響を与え、電気・ガスの公共料金が値上がりしている中で、上下水 道料金は値上げすることなく、値上げ影響分を内部で吸収しているところ だが、将来にわたり長期間は耐えることができないと考えている。</p> <p>独立採算制が基本原則である公営企業として、どこかの時点で皆様方 に上下水道料金の在り方についてご議論をお願いする時が来ると考えて いる。</p> <p>本日の各議題と上下水道局の置かれた状況について十分にご理解いた だき、忌憚のないご意見をいただきたい。</p>
事務局	<p>【委員出欠状況報告】 本日の審議会には、委員15人中オンラインによる出席が7人、会議 室にお集まりいただいた委員8人、計15人の皆様にご出席いただいで いる。</p> <p>宮崎市上下水道事業経営審議会条例第5条第3項により、半数以上の 委員が出席されているので、本会議が成立していることをご報告申し上 げる。</p>

	<p>宮崎市上下水道事業経営審議会条例第5条第2項の規定に基づき鈴木会長に会議の進行をお願いしたい。</p>
会 長	<p>先の台風14号や震度4の地震により、一部で断水等が発生した。災害に強い上下水道を構築し、もし施設が被災しても速やかに復旧できるよう、対応する職員の技能の向上と日頃からの老朽施設の更新や耐震化の推進がいかに大切かを実感している。</p> <p>本日は、みやざき水ビジョン2020 施策評価調書の外部評価と、財政の見通しを示す令和4年度投資・財政計画ローリング結果について審議していただく。</p> <p>宮崎市上下水道局が行っている災害の備えをはじめ様々な事業が計画とおりできているのか、財源の裏付けは十分なのか、将来にわたり持続可能な経営を確保する上で非常に重要な内容になっていると思う。</p> <p>本日の会議では活発な意見交換をしていただき、より良い宮崎市上下水道事業の構築に繋がることを祈念する。</p>
会 長	<p>それでは、議事(1)みやざき水ビジョン2020における成果指標の新設について、事務局から説明をお願いする。</p>
事務局	<p>『資料1 みやざき水ビジョン2020における成果指標の新設について』をご覧ください。</p> <p>施策評価調書の施策体系I-6、実施方策が工業用水道施設の更新・耐震化、取組内容が施設の耐震化、管路の耐震化、電気機械設備の更新についてである。</p> <p>経営審議会委員による外部評価において、「指標等の工夫を」、「課題とその取組に具体性をもたせ、成果を『見える化』して欲しい」とのご意見をいただいたため、平成30年度に策定したアセットマネジメント計画を基に成果指標を新設するものである。</p> <p>アセットマネジメント計画は全ての管路・建物・機械機器を細分化した上で策定され、それぞれの耐用年数は8年から90年と大きく開いており、また、毎年更新があるものではなく、年度毎の進捗が見えにくいため、進捗率の指標の設定が困難と判断していた。</p> <p>進捗管理のイメージとしてはアセットマネジメント計画と水ビジョンを照らし合わせた上で、取組内容毎に令和11年度までの事業計画を「主な成果と新たな課題」に記載することとする。</p> <p>また、「定量的評価指標」として当該年度の目標、及び今後の方向性や特記事項を明記するとともに、それぞれの取組に応じて中間目標及び最終目標を掲げ、進捗率表を作成することで、より具体的に見える化が図れるものと考えている。</p>
会 長	<p>ただいまの説明について、質問等はないか。</p> <p>なければ、工業用水道事業について、成果指標を新設することとする。</p>

会 長	次に、議事（２）みやざき水ビジョン２０２０ 施策評価外部評価の確定について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>資料２から５を用いて説明する。</p> <p>本日の経営審議会をもって「資料４ 令和４年度 施策評価調書」上段の外部評価を決定することとなる。</p> <p>資料２が各審議会委員の評価結果を集計した外部評価の一覧、資料３が外部評価の結果（案）、資料４が施策評価調書、資料５は事前に審議会委員からいただいたご質問の回答を記載したものである。</p> <p>まず、資料２により結果の概要を説明する。</p> <p>最終評価は２１項目について全て「Ｂ」評価になった。事務局が行った内部評価と同じ結果である。</p> <p>評価の内訳としては、内部評価では「Ａ」と「Ｂ」の拮抗した項目が５項目あったが、外部評価では「Ｂ」が全項目で多かった。</p> <p>「Ｃ」評価は、外部評価では４項目、内部評価では１５項目にあった。</p> <p>次に、資料３により外部評価の総括（案）を「将来像ⅠからⅤ」毎に説明する。</p> <p>（「将来像Ⅰ 安全で強靱なライフラインの構築」の外部評価の総括（案）を読み上げて説明）</p>
会 長	<p>ただいまの説明で委員の皆様からご指摘、ご意見はないか。</p> <p>なければ「将来像Ⅱ 快適で良好な生活環境の整備」について、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（「将来像Ⅱ」の外部評価の総括（案）を読み上げて説明）</p> <p>（Ⅱ－１、Ⅱ－３－３、Ⅱ－４について「資料５」により説明）</p>
会 長	ただいまの説明でよろしいか。
審議会委員	評価が「Ａ」と「Ｂ」で拮抗して、わずかの差で内部評価が「Ｂ」になったとのことだが、外部評価に際しては内部評価の結果のみで詳細がわからない中で、内部評価の影響を大きく受けるのではないか。
会 長	<p>評価の方法については改善について後で提案させてもらう。</p> <p>他に質問やご意見はないか。</p> <p>なければ、次の「将来像Ⅲ」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	（「将来像Ⅲ」の外部評価の総括（案）を読み上げて説明）
会 長	<p>「将来像Ⅲ」について質問やご意見はないか。</p> <p>なければ、次の「将来像Ⅳ」について、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	（「将来像Ⅳ」の外部評価の総括（案）を読み上げて説明）
会長	「将来像Ⅳ」について質問やご意見はないか。 外部評価はどういう形で公開されるのか。ABCの評価と「外部評価の総括」のみか。
事務局	本日の資料は全てホームページに公開される。
会長	他に質問やご意見はないか。 なければ次の「将来像Ⅴ」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（「将来像Ⅴ」の外部評価の総括（案）を読み上げて説明）
会長	「将来像Ⅴ」について質問やご意見はないか。 委員の皆様の外部評価で「C」評価が2つあったが「外部評価の総括」は案のとおりで良いか。 なければ、全体を通して意見はないか。 意見もないので、「外部評価の総括」は資料のとおりで確認されたものとする。 先程、委員からもあったが、外部評価の方法について、事務局が行った内部評価が全て「B」になっていた。 事務局としては「A」にしたかった項目や、「C」に近い項目もあったと思うが、結果としては全て「B」だった。 外部評価するにあたって全部「B」だと、今年は何が良くて、何が悪かったのか、昨年と比べ何が改善されたのかがわからない。 数値目標を達成しているのに「A」になっていない項目がいくつかあった。事務局からは自信を持って提案していただいて、それについて審議会委員が評価するようにしてもらいたい。 内部評価が13人、外部評価が15人で事業の進捗をチェックしてコメントを公表して進めていく施策評価は重要なものと認識しているので改善してもらいたい。
審議会委員	数値目標が100%達成していれば自信を持って「A」とするように評価してもらえれば、受け取る市民としてもしっかり進んでいるんだなと理解できる。
審議会委員	定性的な評価は難しいが、水ビジョン2020や経営戦略、その他の上下水道事業の整備計画どおりに進捗しているか、成果を上げているかが評価の基準になっている。 しかし、様々な事業の計画を達成しているけれども、台風等の大きな災害があった場合に大丈夫なのか、評価する際に疑問に思った。 広報活動はコロナ禍の中で難しくなっているが、上下水道局からの情報発信を積極的にやって欲しい。

審議会委員	<p>評価が難しかった。</p> <p>大きな災害が起きたときにすぐに対応できる準備をしているというような具体的な対応策が示されていると評価がしやすい。</p>
事務局	<p>内部評価は部課長で行い、点数を機械的に集計したところ全て「B」評価になってしまった。</p> <p>例えば耐震化や浸水対策等の災害対策を進める中で、実績が目標の100%達成していても、今災害が起きたら大丈夫なのかと考えると「A」ではなく「B」になってしまうところがあった。今後はメリハリのある評価にしたい。</p>
事務局	<p>部課長の内部評価のレベルを上げないといけない。局内の評価の仕方の足りないところは改善していきたい。</p> <p>施策評価は昨年が試行で今回が1回目になる。ここで評価の方法を大きく見直すと評価の連続性が崩れてしまう。水ビジョンが10年期間なので10年目で見直すか中間の5年目で見直すか、大きな改善については検討したい。</p> <p>先程委員から災害時の対応について意見があったが、例えば災害時に対応するためBCP 業務継続計画を立てている。また日頃から水安全計画に基づいて油流出等の水質汚染事故の対応などを行っている。</p> <p>施策評価調書の[I-1 安全で良質な水の供給 1 宮崎市水安全計画の推進]の「主な成果と新たな課題」の欄に、今後は水質汚染等の事故の件数を明示して、水安全計画に基づいて安全な水を提供したと書くなど根拠を明示すれば自信を持って「A」評価ができるのではないかと。そのような変更は行っていきたい。</p>
会 長	<p>事務局から改善できるところは改善していくとのことだ。</p> <p>施策評価には外部委員の意見がしっかりとまとめられている。これを積み重ねていくと、次の新しい水ビジョンをまとめるときの重要な資料になる。</p> <p>それでは外部評価結果を宮崎市上下水道局ホームページに掲載する。</p>
換気休憩 5分	
事務局	<p>内部評価の内訳について、審議会委員には届けていなかったため配付する。オンライン参加の委員にはメールでお届けする。</p>
会 長	<p>続いて、議事（3）令和4年度投資・財政計画ローリング結果について事務局から説明をお願いする。</p>

事務局

令和3年度決算を踏まえた「投資・財政計画ローリング結果」を資料6により説明する。

1 ページ 経営目標は水道事業、公共下水道事業とも「当年度純利益の確保」、「企業債残高の減少」が同じで、3番目に水道事業が「運転資金（資金残高）の確保」、公共下水道事業が下水道に接続する「水洗化率の向上」としている。

2 ページ 重要業績評価指標（KPI）の令和3年度の実績と11年度の財務関係の目標を掲載している。

3 ページ 水道事業の収益的収支の見込みで、収入が減少して支出が増加しており純利益が経営戦略より少なくなっている。令和11年度には支出が収益を逆転して赤字になる見込みである。

4 ページ 資本的収支の見込みは年度毎のばらつきはあるが、経営戦略と大きな乖離はない。

5 ページ 企業債残高と資金残高の見込みでは、企業債残高が徐々に減少している。

運営資金である資金残高は減少が大きく、令和11年度には10.9億円になる見込み。30億円を確保することを目標としているので令和8年度には目標を下回る。

建設改良費に対する企業債の充当率、費用のどの程度を企業債で賄うかの比率を40.7%から42.6%に上げている。

6 ページ 給水収益の見込みは経営戦略とローリング結果がほぼ同水準で推移している。

営業費用は増加傾向にあり令和3年度はローリング結果が経営戦略を下回っていたが、4年度以降は営業費用のローリング結果が経営戦略を上回っている。これは令和3年度に下北方浄水場の新系が完成し、4年度以降に経費が上がってくることによる。

7 ページ 公共下水道事業の収益的収支の見込みは一般会計からの繰入金があり、収支不足分を補っているため、収入が支出を上回る見込みになっている。

令和3・4年度は前年度事業の繰越しのため赤字になる見込みである。

令和8年度以降に収入と支出の差が大きくなるのは各施設の維持管理費、資産減耗費が増加していくとみているため。

8 ページ 資本的収支は経営戦略では支出合計が年間100億から120億円の範囲で推移すると見込んでいたが、ローリング結果では令和4年度から11年度の増加額の合計が125億円と大幅に増加する見込みになっている。

9 ページ 企業債残高と一般会計繰入金の見込みでは、企業債残高が経営戦略では令和11年度に623億円に減少すると見込んでいたが、ローリングでは年々減少するものの令和11年度は706億円と減少幅

事務局	<p>が小さくなる見込みになった。</p> <p>企業債残高が計画とおりに減らないためK P I の達成が困難になっている。</p> <p>一般会計繰入金は年々減少していくと見込んでいたが、令和5年度以降は40億円を上回る水準で推移する見込みになっている。</p> <p>10ページ 下水道使用料収益は経営戦略と比べローリングでは1億円程度下回る見込みになっている。</p> <p>営業費用の見込みは業務委託費の増加等があり、経営戦略の見込みを上回っている。特に令和8年度以降は既存の処理場の更新や大淀処理場焼却炉代替施設等の維持管理費や資産減耗費が増加していくと見込んでいる。</p>
	<p>11・12ページがローリング結果のまとめである。</p> <p>水道事業は4つの指標のうち企業債残高関係の2項目は達成を見込んでいる。経常収支比率は昨年度のローリング結果では100.1%と見込んでいたが、今年度は99.1%となり達成が困難になっている。</p> <p>運営資金についても30億円を目標にしており達成が難しい状況になっている。</p> <p>公共下水道事業のK P Iのうち、経常収支比率は一般会計繰入金の関係から達成するものの、企業債残高関係の2項目は達成が難しいローリング結果になっている。</p>
	<p>13・14ページ 工業用水事業のローリング結果は令和3年度4月に料金改定を行っているため安定した経営ができると見込んでいる。</p> <p>15・16ページ 農業集落排水事業のローリング結果は経営戦略とローリング結果がおおむね同じような推移になっている。</p>
会 長	<p>令和4年度投資・財政計画ローリング結果の説明でご質問等はないか。</p> <p>水道事業のローリング結果については、経常収支が令和11年度には収入と支出が逆転してしまう。</p> <p>資金残高も経営戦略と比べどんどん下がってってしまう。</p> <p>営業費用も経営戦略と大きな開きがある。</p> <p>公共下水道事業は収益的収支の見込みが、経営戦略とローリング結果では大きな違いがある。</p> <p>企業債残高も計画的に下げる必要があるが、なかなか下がらない状況である。</p>
審議会委員	<p>水道事業の資金残高の見込みは減少し、営業費用の見込みは上昇している。今後どのように賄っていくのか。</p>
事務局	<p>水道事業の資金残高は令和11年度で10億円程度の見込みで、まだ十分との意見もあるかもしれないが、もしそうなれば例えば老朽管の更</p>

事務局	<p>新等が全くできなくなる、令和8年にはまだ資金残高が25億円あるので、料金改定は令和9年以降でいいのではないかと思う方もいるかもしれないが、そのときはもう手遅れになってしまう。</p> <p>現在は料金改定の議論がしにくい時期と考えている。電気・ガス等の公共料金がどんどん上がっている。しかし、上下水道は料金上昇分を内部で吸収している。しかし長期には無理であり、どこかで議論をお願いする時期が来る。そう遠くない時期をお願いすることになると考えているが、まだ何も決まっていない。</p>
会長	<p>水道事業は市民にはなくてはならないインフラであり、私たちは蛇口をひねれば水が出てくるのが当たり前と思っている。しかし予算がわいてくるわけではなく、国から補助があるわけでもない。</p> <p>電気代は電力会社の判断で決まるが、上下水道は公共事業であり難しい状況がある。</p> <p>委員の皆様は事務局に聞きたいことはないか。</p> <p>ローリングは来年度も行うのか。来年度は良くなるのか。</p>
事務局	<p>劇的に経済情勢が好転すれば別だが、経営を改善するためには、売上げとなる使用量を増やすか、単価を上げるか、固定した毎年経常的に発生する経費を下げるか3通りしかない。</p> <p>固定費は老朽管渠の更新等があり下げられない。人口減少の中で水道使用量を増やすことは厳しい。そうなると単価を改定せざるを得ない。各自治体とも腐心して改定を選択している。</p> <p>下水道事業の収益的収支見込みは均衡しているが、一般会計繰入金には基準内・基準外の区別がある。宮崎市は基準外繰入金が多くなっている。公共下水道事業を維持することも重要だが繰入金を減らすことができれば、福祉等他の政策に充てることができる。それを考えると一般会計繰入金に頼ることはよいことではない。</p>
会長	<p>事務局からわかりやすい説明があった。繰入金は減らさないといけない。厳しい状況であることは理解できたと思う。</p> <p>それでは、議題（4）その他となっている。</p> <p>全体を通してどのようなことでも結構だが、ご意見やご質問等はないか。</p>
事務局	<p>本日、皆様のお手元に「令和3年度上下水道局 事業会計決算説明資料」をお配りしている。</p> <p>A3横が令和3年度決算の収支状況をお示ししたものの、収益的収支と資本的収支の結果になっている。</p> <p>水道事業・公共下水道事業・農業集落排水事業・工業用水事業のうち、公共下水道事業のみ赤字になっている。</p>

事務局	A 4 縦の資料は上下水道局企業会計の決算の規模を表したもの、各事業会計毎の前年度との比較、建設投資の内訳、企業債の状況、経営指標の推移と水ビジョンの達成状況をグラフ化して紹介させていただいている。後ほどご参照いただいて、ご質問があれば事務局にメール・FAX 等でお尋ねいただきたい。
会 長	他にないようなので、これで議事進行を終了としたいと思う。この後は事務局にお任せする。
事務局	以上を持って、令和4年度第3回 宮崎市上下水道事業経営審議会を終了させていただく。
	(閉会)